

2027年度入学試験について

本学で実施される2027年度入学試験において、変更等重要な点は以下の通りです。
詳細については各入試の募集要項や本学ウェブサイト内の[関連ページ](#)もご確認ください。

記

1. ミュージック・リベラルアーツ専攻における英語資格試験基準の変更について

下記2つの入学試験における英語資格試験の基準を変更いたします。

①一般選抜 A 日程・B 日程

一般選抜におけるミュージック・リベラルアーツ専攻の入試科目のうち、英語について求める資格試験の基準を変更いたします。

<英 語>

■一般選抜（A 日程）は、以下より1つ選択する。

(1) 大学入学共通テスト（筆記およびリスニング）

(2) 本学が行う試験（60分）

(3) 資格試験 ←こちらの基準を変更※

■一般選抜（B 日程）は、上記(1)の大学入学共通テストは利用しない。

※変更となる資格試験の基準

名称	変更前（2026年度）	変更後（2027年度より）
ケンブリッジ英語検定	120 以上	140 以上
実用英語技能検定	準2 級以上	2 級以上
GTEC (アセスメント版を除く)	690 以上 (23年3月末迄取得) 680 以上 (23年4月以降取得)	960 以上 (23年3月末迄取得) 930 以上 (23年4月以降取得)
IELTS(Academic)	4.0 以上	4.5 以上
TEAP	135 以上	225 以上
TEAP CBT	235 以上	420 以上
TOEFL iBT	42 以上	52 以上
TOEIC (L&R/S&W) (公開テストのみ) ※	625 以上	1150 以上
TOEIC Bridge(L&R/S&W) (公開テストのみ) ※	129 以上	170 以上

※TOEIC および TOEIC Bridge (L&R/ S&W)については、S&W のスコアを 2.5 倍にして合算

②学校推薦型選抜（東京音楽大学附属高等学校）

東京音楽大学附属高等学校を対象とした学校推薦型選抜において、ミュージック・リベラルアーツ専攻の出願資格に関わる英語資格試験の基準を、上記の一般選抜と同様の内容へと変更いたします。

2. 作曲指揮専攻（指揮）総合型選抜(日程①)の募集開始について

これまで作曲指揮専攻（指揮）は総合型選抜を実施していませんでしたが、2027年度入試より募集します。

<入学試験名>

総合型選抜(日程①)

<試験科目>

1. 楽典 ※
2. 新曲視唱 ※
3. 聴音 ※
4. 専攻実技
 - (1) 聴音（単旋律、二声および木管四重奏）
 - (2) 新曲視唱（各種音部記号による。ただし、メゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く）
 - (3) 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い
 - (4) スコアリーディング（2管編成程度の管弦楽曲）
 - (5) 指揮実技
 - (イ) 2管編成程度の管弦楽曲の初見指揮（演奏は2台のピアノによる）
 - (ロ) 古典派交響曲（演奏は2台のピアノによる）
 - (ハ) 管弦楽曲（演奏は2台のピアノによる）

* (ロ) (ハ) は暗譜で演奏（指揮）すること。
 - (6) 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可）
 - (7) 和声（バス・ソプラノ課題「初級程度」1時間）
 - (8) 小論文（1時間）
 - (9) 口述試問

※当該年度に本学で実施する受験講習会において、楽典・新曲視唱・聴音の認定試験で認定された者は、同年度内に実施される入学試験の該当科目(※印)の試験が免除されます。(予定)

3. 音楽文化教育専攻における試験科目の変更について

2027年度入試より、以下の通り変更になります。変更点は赤文字。

①【総合型選抜(日程①)：変更前】現在の試験科目 ※下線部分を変更

1. 英語課題：設問について英語で解答（事前提出）
2. 論文課題（90分）
3. 口述試問 任意の演奏手段による音楽実技（5分程度）を含む。
 - 口述試問
 - 任意の演奏手段による音楽実技について
 - 声楽、器楽から任意の演奏手段をひとつ選択し、演奏すること。
 - 声楽 自由曲1曲（伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）
 - 器楽 自由曲3分以上5分程度（複数曲可。伴奏なしで演奏すること）
 - 鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。
 - 2-3分程度の自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない。

[次ページへ続く]

【総合型選抜(日程①)：変更後】 2027 年度の試験科目変更内容

1. 英語課題：設問について英語で解答（事前提出）
2. 論文課題（90分）
3. 口述試問
4. 実技

以下から実技をひとつ選択する。

- 声楽 自由曲 1 曲（暗譜。伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）
- ピアノ 自由曲 5 分程度（自作品は不可。複数曲可。暗譜）
- 弦楽器 自由曲 5 分程度（複数曲可。暗譜。伴奏なし）
※受験可能な楽器は器楽専攻に準ずる
- 管打楽器 自由曲 5 分程度（複数曲可。暗譜の必要なし。伴奏なし）
※受験可能な楽器は器楽専攻に準ずる

②【一般選抜 A・B 日程／外国人留学生選抜：変更前】 現在の試験科目 ※下線部分を変更

1. 英語
2. 選択科目
 - ・一般選抜（A 日程）、外国人留学生選抜は、以下の課題の（A）～（C）より 2 つ選択する。
 - ・一般選抜（B 日程）は、以下の課題の（A）～（C）より 1 つ選択する。
 - （A）楽典（50 分）
 - （B）新曲視唱：8 小節程度の旋律を 1 曲
 - （C）聴音（30 分）
3. 小論文（60 分）
4. 口述試問 任意の演奏手段による音楽実技（5 分程度）を含む。
 - 口述試問
 - 任意の演奏手段による音楽実技について
 - 声楽、器楽から任意の演奏手段をひとつ選択し、演奏すること。
 - 声楽 自由曲 1 曲（伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）
 - 器楽 自由曲 3 分以上 5 分程度（複数曲可。伴奏なしで演奏すること）
 - 鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。
 - 2 - 3 分程度の自由曲 1 曲。レベル、ジャンルは問わない。

【一般選抜 A・B 日程／外国人留学生選抜：変更後】 2027 年度の試験科目変更内容

1. 英語
2. 選択科目
 - ・一般選抜（A 日程）、外国人留学生選抜は、以下の課題の（A）～（C）より 2 つ選択する。
 - ・一般選抜（B 日程）は、以下の課題の（A）～（C）より 1 つ選択する。
 - （A）楽典（50 分）
 - （B）新曲視唱：8 小節程度の旋律を 1 曲
 - （C）聴音（30 分）
3. 小論文（60 分）

[次ページへ続く]

4. 口述試問

5. 実技

以下から実技をひとつ選択する。

■声楽 自由曲1曲（暗譜。伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）

■ピアノ 自由曲5分程度（自作品は不可。複数曲可。暗譜）

■弦楽器 自由曲5分程度（複数曲可。暗譜。伴奏なし）

※受験可能な楽器は器楽専攻に準ずる

■管打楽器 自由曲5分程度（複数曲可。暗譜の必要なし。伴奏なし）

※受験可能な楽器は器楽専攻に準ずる

③【学校推薦型選抜（指定校制）：変更前】現在の試験科目 ※下線部分を変更

1. 論文課題（90分）

2. 口述試問 任意の演奏手段による音楽実技（5分程度）を含む。

○口述試問

○任意の演奏手段による音楽実技について

声楽、器楽から任意の演奏手段をひとつ選択し、演奏すること。

■声楽 自由曲1曲（伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと）

■器楽 自由曲3分以上5分程度（複数曲可。伴奏なしで演奏すること）

【学校推薦型選抜（指定校制）：変更後】2027年度の試験科目変更内容

1. 論文課題（90分）

2. 口述試問

※実技試験は課さない

※学校推薦型選抜（指定校制）については本学より各指定校へ詳細をお知らせします（2026年夏予定）。試験科目の詳細や出願資格等については在籍校にてご確認ください。

4. 器楽優秀者総合型選抜の廃止について

2027年度入試より「器楽優秀者総合型選抜」は廃止し、総合型選抜日程①へ統合いたします。

<対象の専攻 ※2026年度実施専攻>

・器楽専攻（ピアノ演奏家コース／弦楽器／木管楽器／金管楽器／打楽器）

・ミュージック・リベラルアーツ専攻（ピアノ演奏家コース）

<10月実施総合型選抜の変更>

■2026年度入学試験

■2027年度入学試験

10月実施 総合型選抜 日程① ⇒ 10月実施 総合型選抜 日程① ※変更なし

器楽優秀者総合型選抜 ⇒ （廃止・上記に統合）

<2027年度総合型選抜の試験科目 ※予定>

① 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）／ミュージック・リベラルアーツ専攻（ピアノ演奏家コース）

1.専攻実技 2.面接

※2026年度器楽優秀者総合型選抜（ピアノ演奏家コース）と同等の専攻実技課題を、2027年度総合型選抜における「C課題（仮称）」として追加予定です。（出願時に課題を選択）

[次ページへ続く]

② 器楽専攻（弦楽器）

1.楽典 2.新曲視唱 3.聴音 4.専攻実技 5.面接

※2026年度器楽優秀者総合型選抜では課していない「楽典・新曲視唱・聴音」の試験科目を課します。

③ 器楽専攻（木管楽器／金管楽器／打楽器）

1.楽典 2.聴音 3.専攻実技 4.面接

※2026年度器楽優秀者総合型選抜では課していない「楽典・聴音」の試験科目を課します。

※ 備考

- ・楽典・新曲視唱・聴音については、2026年8月・12月実施予定の受験講習会の認定試験で認定を受けた場合、2027年度入学試験において当該科目が免除されます。
- ・試験科目や課題等は今後変更となる場合があります。最終的な内容は、2027年度総合型選抜募集要項」（2026年6月公表予定）をご確認ください。

5. ピアノ、ピアノ・創作コース 総合型選抜(日程②)の募集開始について ※ピアノ演奏家コースの試験課題変更あり

2027年度入試より、ピアノおよびピアノ・創作コースにおいて、総合型選抜(日程②)を新たに実施します。また、ピアノ演奏家コースの総合型選抜(日程①)の試験課題を変更します。

<入学試験名>

総合型選抜(日程②) ※11月下旬実施予定

<募集専攻>

器楽専攻 ピアノ、ピアノ・創作コース

ミュージック・リベラルアーツ専攻 ピアノ

<試験科目>

1.専攻実技 2.面接

※ピアノ演奏家コースの試験課題の変更を含めた試験内容については、下記を参照ください。

◆試験課題について

器楽専攻 ピアノ / ミュージック・リベラルアーツ専攻 ピアノ

総合型選抜（日程①） ※10月上旬実施

1. 専攻実技

すべて暗譜で演奏すること。

9分以上12分程度の自由なプログラム

※ただし、下記の選択肢の中からの1つを含めること。

- ・J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意のプレリュードまたはフーガのどちらか

または、

- ・ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から任意の楽章を1つ

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

[次ページへ続く]

総合型選抜（日程②） ※11月下旬実施

1. 専攻実技

すべて暗譜で演奏すること。
次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲
(プレリュードとフーガ)
※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
- (2) 次の (イ) ~ (ホ) の練習曲集より任意の 1 曲
(イ) モシユコフスキー Op.72
(ロ) クレメンティ (タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと)
(ハ) チェルニー Op.740 (50 番練習曲)
(ニ) モシエレス
(ホ) ショパン Op.10, Op.25 (Op.10 No.6, Op.25 No.7 を除く)
- (3) 自由曲 (自作品は不可。5 分以上 8 分程度。複数曲可。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別
曲目記入票に明記すること)
※省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※(1)(2)(3)の順に演奏すること

b 課題

自由曲(自作品は不可。12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。
楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること。
※省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

器楽専攻 ピアノ・創作コース

総合型選抜（日程①） ※10月上旬実施

1. 専攻実技

(1)を演奏、(2)を事前提出すること。
すべて暗譜で演奏すること。

(1) 9分以上 12分程度の自由なプログラム

※ただし、下記の選択肢の中からの 1 つを含めること。

- ・ J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意のプレリュード または フーガの
どちらか
または、
- ・ ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から任意の楽章を 1 つ

(2) 創作

自作の楽譜を 1 曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。
例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

[次ページへ続く]

総合型選抜（日程②） ※11月下旬実施

1.専攻実技

1.ピアノ実技

すべて暗譜で演奏すること。
次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

(1) J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意のプレリュードまたはフーガのどちらか

(2) 次の (イ) ~ (ホ) の練習曲集より任意の1曲

(イ) モシニコフスキー Op.72

(ロ) クレメンティ (タウジヒ編による29の練習曲より選択のこと)

(ハ) チェルニー Op.740 (50番練習曲)

(ニ) モシェレス

(ホ) ショパン Op.10, Op.25 (Op.10 No.6, Op.25 No.7を除く)

(3) 自由曲 (自作品は不可。5分以上8分程度。複数曲可。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別
曲目記入票に明記すること)

※省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※(1)(2)(3)の順に演奏すること

b 課題

自由曲(自作品は不可。12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。
楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること。

※省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2.創作

自作の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

2.面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

器楽専攻 ピアノ演奏家コース / ミュージック・リベラルアーツ専攻 ピアノ演奏家コース

総合型選抜（日程①） ※10月上旬実施

1.専攻実技

すべて暗譜で演奏すること。

17分以上22分程度の自由なプログラム

※ただし、下記の選択肢の中からの1つを含めること。

・J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲
(プレリュードとフーガ)

または、

・ショパン『練習曲集』Op.10, Op.25より任意の1曲

または、

・ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から任意の楽章を1つ

2.面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

[次ページへ続く]

総合型選抜（日程②） ※11月下旬実施

1. 専攻実技

すべて暗譜で演奏すること。
次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲
(プレリュードとフーガ)
※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
- (2) ショパン『練習曲集』 Op.10, Op.25 より任意の 2 曲 (Op.10 No.6, Op.25 No.7 を除く)
- (3) 次の①または②を選択すること。
 - ①次の (イ) ~ (ト) の練習曲集より任意の 1 曲
 - (イ) リスト
 - (ロ) ドビュッシー
 - (ハ) スクリャービン Op.8, Op.42, Op.65
 - (ニ) ラフマニノフ Op.33, Op.39
 - (ホ) プロコフィエフ Op.2
 - (ヘ) バルトーク Op.18
 - (ト) リゲティ
 - ②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の楽章を 1 つ
- (4) 自由曲（自作品は不可。12 分以上 15 分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）
※省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※(1)(2)(3)(4)の順に演奏すること

b 課題

自由曲（自作品は不可。25 分以上 30 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）。
※省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2. 面接

本学を志望した理由について述べるほか、試験委員からの質問に答えてください。

※試験科目や課題等は今後変更となる場合があります。最終的な内容は、2027年度総合型選抜募集要項」（2026年6月公表予定）をご確認ください。

以上